



**令和7年度
東北地区国立大学法人等
職員採用合同説明会
(教育研究支援系技術職員)**

令和7年7月26日(土)



独立行政法人国立高等専門学校機構

秋田工業高等専門学校

National Institute of Technology, Akita College



高専って？

2

時代にふさわしい、実践的技術者を養成する高等教育機関です

国立高等専門学校(高専)は、我が国の産業の発展と、科学技術教育のより一層の振興を図るために、昭和37年に創立されました。

高専には、『深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する』という目的があり、中学校卒業生を入学資格とする5年制の一貫教育を行う高等教育機関です。

平成16年度には、独立行政法人国立高等専門学校機構として発足し(法人化)、全国に51校55キャンパスの国立高専が設置されています。

また、令和4年度には高等専門学校制度創設60周年を迎えました。



秋田高専の沿革

3

1964(昭和39)年
機械工学科, 電気工学科, 工業化学科の3学科で発足

2004(平成16)年
独立行政法人化

2017(平成29)年
創造システム工学科に改組(1学科・4系・8コース)

2022(令和4)年
専攻科改組(1専攻・4コース)

創造システム工学科

定員160名

2年生進級時に4系列の中から適した系を選べます

機 械 系



社会基盤を支える重要な専門技術の一つである機械工学を学びます。

電気・電子・
情報系

電気エネルギーと情報・通信の基盤となる専門知識と技術について学びます。

物 質 ・
生 物 系

物質や生物に関わる基礎的な専門知識を学びます。

土 木 ・
建 築 系

道路・鉄道などのインフラや建物を作る建設技術を学びつつ倫理観を育成します。

4年生進級時には系の2コースの中から
コースを選択し、更に専門的分野を学びます

機械システムコース

知能機械コース

電気エネルギーシステムコース

情報・通信ネットワークコース

マテリアル・プロセス工学コース

バイオ・アグリ工学コース

国土防災システムコース

空間デザインコース

本科
卒業

進路

即戦力として
就職

進路

プラス2年間
専攻科グローバル地域
創生工学専攻

機 械 工 学 コー ス
電 気 情 報 工 学 コー ス
物 質 工 学 コー ス
建 設 工 学 コー ス

進路

大学(3年)へ

※大学によって編入する
学年が異なります

創造システム工学科(本科)783名, 専攻科36名の
学生が学んでいます(R7.7.1現在)。



組織

5

教職員数(R7.5.1現在) ※常勤のみ。再雇用職員及び非常勤職員を除く。

区分	校長	教授	准教授	講師	助教	職員※	合計
人数	1	20	26	6	5	38	96

教職員の年齢構成(R7.5.1現在)

年齢 区分	校長		教授		准教授		講師		助教		小計		職員		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20-29									1		1		5	1	6	1
30-39					3		4	2	4		11		8	4	19	4
40-49			1		11	4					12	6	10	5	22	11
50-59	1		15		6	1					22	1	4		26	1
60-			4		1						5			1	5	1
合計	1	0	20	0	21	5	4	2	5	0	51	7	27	11	78	18

事務組織

事務部長	総務課長	総務課長補佐 (総務担当)	総務係
			人事係
			学術情報係
	総務課長補佐 (財務担当)		財務係
			調達係
			施設係
	学生課長	学生課課長補佐	学生支援係
			教務係
			寮務係

技術教育支援センター組織

技術教育支援 センター長 (教員)	技術長	副技術長	第一班 (機械・実習工場系)
			第二班 (電気・情報系)
			第三班 (物質・環境系)



採用を予定する試験区分，職務内容

1. 採用予定数及び時期

教育研究支援系技術職員(機械区分): 1名

採用予定日: 令和8年4月1日

2. 職務内容

本校技術教育支援センターに所属し、学生の実験実習、卒業研究等に関する技術指導及び支援、実習工場の管理運用業務、教員の教育研究活動、地域貢献の技術支援に関する業務に従事します。

主な職務内容は以下の通りです。

- ① 学生の実験・実習及び卒業研究・特別研究等における技術支援。特に機械工作実習指導(旋盤, フライス盤, 溶接, 複合加工機等)及び設備等の保守・管理。
- ② 教員の教育研究活動に伴う技術支援。
- ③ 地域連携活動に伴う技術支援。
- ④ 公開講座、体験入学等の学校行事への技術支援・運営支援。
- ⑤ その他技術教育支援センターの目的達成のための必要な事項に関すること。



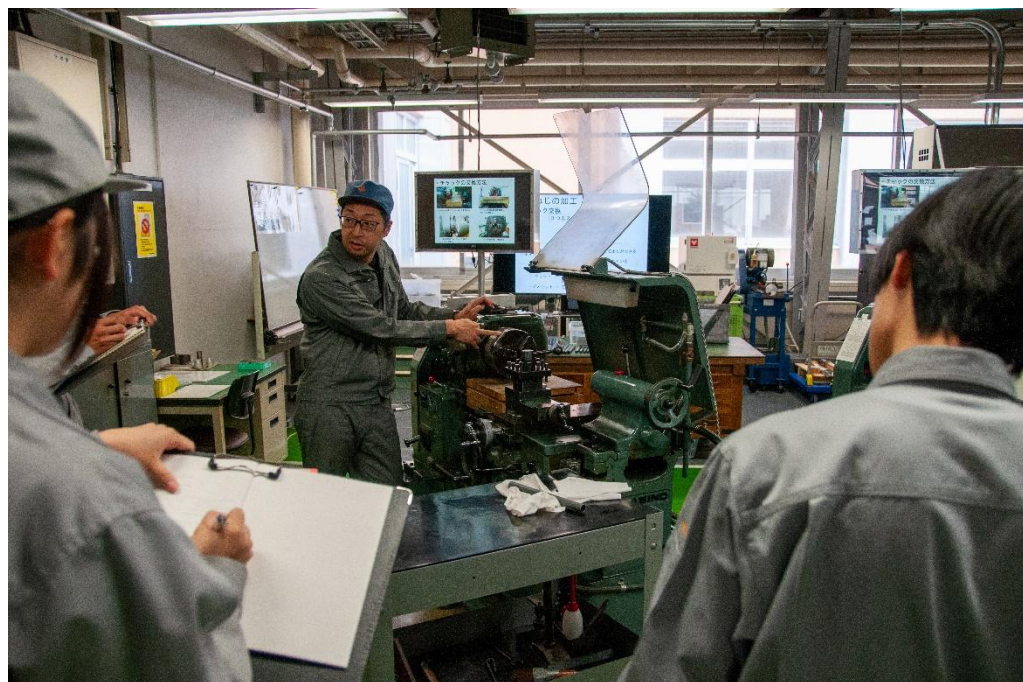
教育研究支援系技術職員の業務①

8

高専ならではの経験

高専の機械実習では通年を通してものづくりにおける実技や工学的観察能力の養成に力を入れています。最新機械や最新の加工法などを利用し、安全な機械操作や危険予知などを指導します。

学生を直接指導するのは大変ですが、学生が作品を完成させたとき時の感動した様子に立ち会えるので何物にも代え難いやりがいを感じます。





教育研究支援系技術職員の業務②

9

業務の一例

例①教員の研究支援, 自己の研究



製作依頼品など

溶接体験アプリケーションの開発



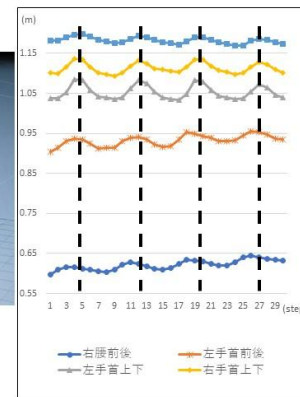
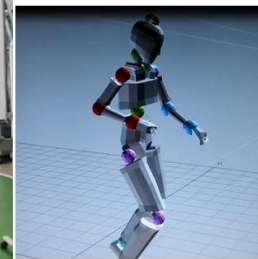
MR(複合現実)
による
溶接作業の研究

動作解析

モーションキャプ
チャを利用した職
人の動作解析によ
るコツの研究



キサゲ加工-荒削り



自己研究

熟練職員の動きの解析

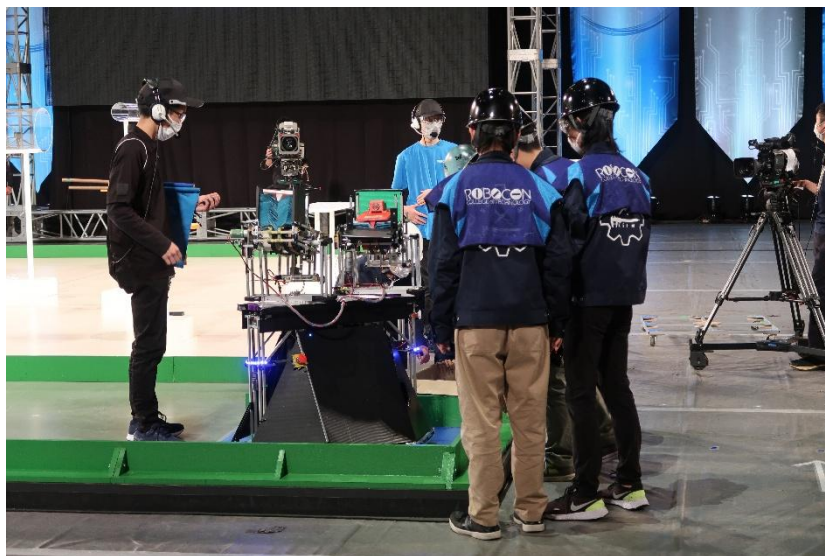


教育研究支援系技術職員の業務③

10

業務の一例

例②ロボットコンテスト支援



学生が製作するロボットの製作支援やアドバイスなどを行っています。全国大会にも同行し支援します。

③エコフェスタへの参加



技術教育支援センター単独で、学校公開事業への協力を行い、センター職員の活動を報告しています。



教育研究支援系技術職員の業務スケジュール

○ある1日のスケジュール

出勤

- 8:30～ メールチェック, スケジュール確認, 班内打合せ
- 9:00～ 実習準備(使用機械, 刃物, 材料の準備及び安全確認)
- 12:00～ 休憩
- 12:45～ 実習準備(パソコン, ディスプレイ準備)
- 12:50～ 実習開始
- 16:00～ 実習終了, 掃除・機械等メンテナンス
- 17:00～ 退勤



教育研究支援系技術職員の業務スケジュール

○ある1年のスケジュール

4月～	8月	前期工作実習, 工学実験などの授業支援
5月～	9月	エコフェスティバル参加準備(企画, 展示準備, 製作)
6月～	10月	ロボットコンテスト製作支援
7月～	9月	科学研究費助成金申請書作成(希望者のみ)
10月～	2月	後期工作実習, 工学実験などの授業支援
2月～	3月	次年度実習, 実験材料準備, 工作機械メンテナンス
通 年		卒業研究支援, 教員研究支援, 自己研究 入学式・高専体育大会・オープンキャンパス・学校祭・入学試験・卒業式 などの業務支援



その他の業務内容

- ▶ **学校行事等への協力**
- ▶ ・入学式, 卒業式 ・入学試験 ・オープンキャンパス
- ▶ ・高専祭 ・各種コンテスト(ロボコン, プロコン, デザコンなど) ・高専体育大会
- ▶ 秋田高専の学生は, ロボットコンテスト, プログラミングコンテスト, デザインコンペティションといった各種コンテストに積極的に参加しています。
- ▶ 各種コンテストや高専体育大会は, 当番制で毎年, 各地区で開催しています。令和5年度は, 当番校としてロボコン2023東北地区大会を開催しました。職員も大会運営に協力し, 大会を通して高専生の活躍を間近で見ることができました。



研修制度①

14

- ▶ 国立高等専門学校機構では、体系的な研修を行っています。
- ▶ 採用されてまもなく受講するのが、国立高等専門学校機構主催の「初任職員研修」です。この研修は、新規採用者を対象として、ビジネスマナー等仕事に必要な基礎的知識や職員としての心構え等を学びます。
- ▶ 初任職員研修の他にもキャリアに応じた研修を用意し、職員の資質向上を図っています。
- ▶ また、担当業務別にも業務に係るスキルアップのための研修があります。



研修制度②，人事交流

- ▶ **国立高等専門学校機構主催の研修**
- ▶ 初任職員研修，東北地区高専技術職員研修 等
- ▶ **国立大学法人等主催の研修**
- ▶ 東北地区国立大学法人等技術職員研修 等
- ▶ **その他機関主催の研修**
- ▶ 情報システム統一研修(総務省)，人事院主催各種研修 等
- ▶ **人事交流について**
- ▶ 勤務地は，本校所在地となりますが，その後のキャリア形成の一環として他の国立高等専門学校や国立大学法人，国立高等専門学校機構本部事務局勤務で勤務していただくことがあります。



勤務条件

▶ 勤務時間

▶ 勤務日 :原則 月～金曜日の週5日

▶ 勤務時間:原則 8時30分～17時00分まで(休憩時間:12時00分～12時45分)

1日7時間45分勤務

▶ 休日

原則 土曜日, 日曜日, 祝日, 12月29日～1月3日(年末年始)

▶ 変形労働時間制

▶ 本校では1年単位の変形労働時間制を採用しているため, 学校行事に対応した勤務力レンダーになります。休日に勤務を命じられた場合は, 休日の振替等を行います。

【参考】令和7年度年間休日数:124日



勤務条件(給与)

▶ 初任給(大学新卒者の場合)

- ・月額 220,000円 ※学歴や職歴によって異なります

▶ 諸手当

- ・通勤手当, 住居手当, 扶養手当 ※要件を満たす場合に支給
- ・超過勤務手当, 期末・勤勉手当(いわゆるボーナス, 年2回),
- ・寒冷地手当(11月～翌年3月) 等

▶ 昇給

- ・毎年1月1日に前年の勤務評価に基づき行われます



勤務条件(休暇・休業)

- ▶ **休暇(有給)**
- ▶ 年次有給休暇:20日／年 ※1月1日に付与、4月採用者は15日／初年
- ▶ 特別休暇:夏季(健康増進等)休暇, 結婚休暇, 忌引休暇, 子の看護休暇, 介護休暇, 産前産後休暇, 配偶者の出産休暇, 育児参加のための休暇 等
- ▶ 病気休暇:連続90日まで
- ▶ 休業(無給, 雇用保険・共済組合から補てんされる場合あり)
- ▶ 育児休業:子が3歳に達する日まで
- ▶ 介護休業:6ヶ月
- ▶ 病気休職:3年, 1年目のみ月給の80%支給



福利厚生

19

▶ 健康保険(医療)

国家公務員と同じ文部科学省共済組合に加入

▶ 共済組合の事業

- ・短期給付(高額療養費, 出産費, 育児休業手当金, 介護休業手当金, 傷病手当金 等)
- ・長期給付(年金)
- ・福祉事業(保険, 共済積立貯金, 貸付, 人間ドックの助成 等)

▶ 雇用保険, 労災保険

▶ 秋田高専で実施する事業

- ▶ 定期健康診断, ストレスチェック, 女性検診, インフルエンザ予防接種(一部助成)



第2次試験案内①

1. 試験日程

令和7年8月27日(水)

※日程の都合で受験が難しい場合はご相談ください。

※詳細は応募受付期間後、個別にメールでご連絡します。

2. 選考方法及び内容

専門・面接試験(個別面接)

選考方法	試験の内容
専門・面接試験 ＜40分程度＞	専門試験：試験区分に関連した専門的知識に関する資料 についてのプレゼン（5分程度）及び質疑応答

※試験の際の旅費等は自己負担となります。



第2次試験案内②

3. 応募受付期間

令和7年7月23日(水)～8月6日(水)15時【必着】

4. 応募方法

①受付期間内にメールにて申込みしてください。

※メール文例

- ・件名【採用試験の応募について(氏名)】
- ・本文に試験区分, 受験番号, 氏名, 整理番号(第1次試験合格通知メールに記載されている番号)を記入してください。

②受付期間内に応募書類を郵送(簡易書留か特定記録)又は持参により提出してください。



第2次試験案内③

5. 応募書類(①, ③は必ず提出してください)

①履歴書(本校ホームページから所定様式をダウンロード)

所定の履歴書に3か月以内に撮影した写真(脱帽・上半身・正面向き)を貼付し、電話番号は必ず連絡の取れる番号を記入してください。

②職務経歴書※必須ではありません。

A4判, 任意様式。履歴書を補足する事項等があれば作成してください。

③試験区分に関連した専門的知識に関する資料(A4判, 任意様式。1～2枚。)

例1)過去に携わったプロジェクト等に関する概要, 自身の役割(担当)及び業務内容を分かりやすくまとめた概要書。

例2)卒業研究(卒業設計を含む)について, 目的, 内容等の研究概要及び当該研究テーマを選択した理由を分かりやすくまとめた概要書。

例3)学校で学んだこと又は取り組んだことについて, 内容及び理由を分かりやすくまとめた概要書。



問い合わせ先等

- ▶ **問い合わせ先**
- ▶ 秋田工業高等専門学校総務課人事係
- ▶ 〒011-8511 秋田県秋田市飯島文京町1番1号
- ▶ TEL:018-847-6006(直通)
- ▶ E-mail: jinji-dv@akita-nct.ac.jp
- ▶ 秋田高専は大学に比べると小規模ですが、その分、顔と名前が一致する関係を築きながら働くことができるアットホームな雰囲気です。
- ▶ 仕事を通じて、学生とともに自分自身も大きく成長させることのできる職場です。皆さんと共に働ける日を楽しみにしています！